

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 12 日 (2021.8.12)

【公開番号】特開 2019-99579 (P2019-99579A)

【公開日】令和 1 年 6 月 24 日 (2019.6.24)

【年通号数】公開・登録公報 2019-024

【出願番号】特願 2018-228252 (P2018-228252)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/665 (2006.01)

A 6 1 P 19/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/665

A 6 1 P 19/10

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 30 日 (2021.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

骨量 (bone mass) 減少と関連する疾病を治療又は予防する組成物であって、前記組成物は、この治療を必要とする使用者に投与するための有効量のゲニステインリン酸コンジュゲートを含むことを特徴とし、

前記組成物のゲニステインリン酸コンジュゲートの前記有効量は約 0.5 mg / kg b.w. / day ~ 約 2.5 mg / kg b.w. / day であることを特徴とする組成物。

【請求項 2】

前記組成物のゲニステインリン酸コンジュゲートの前記有効量は約 0.86 mg / kg b.w. / day ~ 約 1.73 mg / kg b.w. / day であることを特徴とする請求項 1 に記載の骨量減少と関連する疾病を治療又は予防する組成物。

【請求項 3】

前記組成物は、経口投与することを特徴とする請求項 1 に記載の骨量減少と関連する疾病を治療又は予防する組成物。

【請求項 4】

前記組成物は、毎日少なくとも一回投与することを特徴とする請求項 1 に記載の骨量減少と関連する疾病を治療又は予防する組成物。

【請求項 5】

前記組成物は、24 時間内に 1 ~ 6 回投与し、ゲニステインリン酸コンジュゲートの一日量は約 0.5 mg / kg b.w. ~ 約 2.5 mg / kg b.w. であることを特徴とする請求項 4 に記載の骨量減少と関連する疾病を治療又は予防する組成物。

【請求項 6】

前記組成物は、丸剤、錠剤、カプセル剤、顆粒剤、シロップ剤、バイアル又は滴剤の形態であることを特徴とする請求項 3 に記載の骨量減少と関連する疾病を治療又は予防する組成物。

【請求項 7】

前記組成物は更に 1 つ又は複数の薬学的に許容され得るアジュバント、担体及び / 又は賦形剤を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の骨量減少と関連する疾病を治療又は予防

する組成物。

【請求項 8】

前記使用者は哺乳類であることを特徴とする請求項 1 に記載の骨量減少と関連する疾病を治療又は予防する組成物。

【請求項 9】

前記哺乳類はヒトであることを特徴とする請求項 8 に記載の骨量減少と関連する疾病を治療又は予防する組成物。

【請求項 10】

前記ヒトは女性であることを特徴とする請求項 9 に記載の骨量減少と関連する疾病を治療又は予防する組成物。

【請求項 11】

骨構造を改善する組成物であって、

前記組成物は、この治療を必要とする使用者に投与するための有効量のゲニステインリン酸コンジュゲートを含むことを特徴とし、

前記組成物のゲニステインリン酸コンジュゲートの前記有効量は約 $0.5 \text{ mg/kg b.w./day}$ ~ 約 $2.5 \text{ mg/kg b.w./day}$ であることを特徴とする骨構造を改善する組成物。

【請求項 12】

前記使用者はヒトであることを特徴とする請求項 11 に記載の骨構造を改善する組成物。

【請求項 13】

生体力学的な骨の強度を高める組成物であって、

前記組成物は、この治療を必要とする使用者に投与するための有効量のゲニステインリン酸コンジュゲートを含むことを特徴とする組成物。

【請求項 14】

前記使用者はヒトであることを特徴とする請求項 13 に記載の生体力学的な骨の強度を高める組成物。

【請求項 15】

前記骨は大腿骨であることを特徴とする請求項 13 に記載の生体力学的な骨の強度を高める組成物。